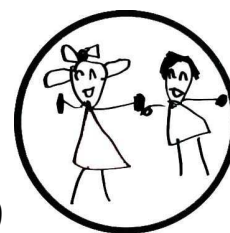


おやこの広場通信



はらっぱ

NO.29



今日から3学期が始まります。寒い時期ですが、子ども達と共に元気に過ごしていきましょう。今月は、今年のクリスマス会の様子をお知らせいたします。いつもとは、ちょっと違うプログラムで、楽しいひと時を過ごせたのではないかと思います。

<12月のおやこの広場から...>

世界にひとつだけのクッキー

クリスマス会の一番の楽しみは、なんと言ってもクッキー作り！クッキーの種を前にして、どの型にしようかと迷うのも楽しみの一つかもしれません。選んだ型でぬき、色とりどりのゼリーで飾りつけたらオープンへ！焼きあがったクッキーをお家の方と一緒においしそうに食べている子ども達の顔が満足気で、見ているこちらも嬉しくなりました。

礼拝堂でうれしいクリスマス

荘厳なパイプオルガンの演奏が流れている礼拝堂に足を踏み入るとさっきまで元気いっぱい声を上げていた子ども達も、何故か厳粛な面持ちになりました。

大村先生からの本当のクリスマスの意味についてのお話しに、大人の方達が熱心に耳を傾けている傍らで、子ども達にもその気持ちが伝わるのでしょうか。時には自分にわかる部分に耳を向けたり、騒ぐことなく座っていたことには、いつもながら驚かされます。周りの雰囲気や大人の姿勢から受取る力を育てることの大切さを改めて感じました。その後は、みんなが11月から繰り返し楽しんできた、鈴を鳴らしながらの「うれしいクリスマス」を、今日はお父さまお母さまの輪唱も加わり素敵な時間となりました。

あおむしくん…どこに行っちゃったの？

それぞれ手作りクッキーを味わった後の楽しみ、今年はおおむしくんのジェンカでした。三匹のおおむしくんの可愛い踊りを満面の笑みで曲に身体を動かしながら楽しみ、見送った後、舞台の片付けをしていると、「あおむしくんは？」「どこ？」と目をまるくする子ども達…「来年も来てくれるといいね。」と咄嗟にあおむしくんの来年の予定も聞かずに、クリスマス会出演の約束をしてしまいました。来年もおおむしくんに会えるといいですね。

でんごんぱんー1・2月の予定ー

*音楽遊び:1月18日(金)・1月30日(水)

*親子制作:牛乳パックで作る「マラカス」です。お好きな時に親子で作っててください。

*白玉お汁粉作り:2月15日(金)・2月27日(水) 自由遊びの時間に親子で白玉を作り、おやつのお汁粉にさせていただきます。特に参加費、準備等は必要ありませんが、爪を切ってきてください。

聖書のことは、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」 マタイによる福音書11章28節

こんな時どうしますか？

大人の時間、子どもに寄り添う時間



11月末のおやこの広場では、珍しく3日間の特別なプログラム(「音楽遊びとお話の会」と「お母さま向けクリスマス制作」の2回)が続きました。諸事情でこのような流れとなってしまったのですが、結果的にはお子さん達はいつもとは異なるプログラムに戸惑ったり、我慢をさせることになってしまい申し訳なく思っています。しかしその反面、お子さん達の成長した姿やいつもと違う姿を見ることができたり、親子共に自信をつけるきっかけになった面もありました。お母さま方もいろいろと感じられたと思いますが、私共もこの両面を真摯に受け止めて、今後に向けての反省と検討の時を持ちました。

ところで、このような出来事というのは、毎日の生活の中にも起りうることではないでしょうか。いつも子ども中心で過ごすことは無理なこともあります。大人にとっては、少々子どもには我慢させても、やりたいことやしなくてはならないことも、時にはあるでしょう。そんな時のお子さんへの対応や共に過ごすことを、どのような形で捕らえていらっしゃるでしょうか。

おやこの広場でのプログラム、片づけ後の親子別のティータイムを一つの例として考えてみましょう。精神的に安定していたり、普段の親子の関わりが満たされていると、一寸寂しくても短い時間なら頑張れる場合が多いようです。前半の親子遊びの時間帯にお母さまがじっくり付き合っていると、お子さんの気持ちも満たされて後半の短時間はお友達と過ごせるという姿も見られます。しかし、「ずっと一緒にいたのにどうして？」と思われることもあるかも知れませんが、時間だけではなくお母さまの気持ち、その内容によってもお子さんの満足度は変わってきます。いつもお母さまが傍にいらっしゃるのに不安定なお子さんの様子を見ていますと、傍にはいらしても他のお母さまとお話して夢中になり、お子さんの姿や声が届いていません。更にはお子さんの傍にもいらっしやらないため、お子さんが呼んでも聞こえず、また何かアクションがあっても対応できない状況の時もあります。また一緒に過ごしていらっしやっても、お母さまご自身がその時を楽しんでいないと、お子さんの気持ちが満たされていないことがあります。もっと困るのは、一緒に過ごしてはいらっしやっても、目の前のお子さんの気持ちに関係なく、お母さまの好みやペースで進めていかれるときです。

ここで大事なことは、分離できるかできないかという問題ではなく、その時のお子さんの言動から心のあり方を感じていただき、その時のお子さんに寄り添った対応をするための一つの目安としていただきたいと思っています。ですから、慣れていない(久しぶりに来た)場所で、急にお母さまから離されたり、一緒に遊べない(過せない)状況になることは、お子さんにとっては不安になったり、つまらなくなったりするのは当然のことです。そのためには、これからのことをお子さんが理解できるようにお話ししたり、その前に濃いつき合いをしておくなどの配慮をすることも大切です。おやこの広場では、年間の流れの中で様々なプログラムを組んでいますので、参加の仕方によってはその点を配慮して、必要がある場合には個々の対応をさせていただいています。

それから、お子さんに何かを我慢させる時には、きちんと説明して納得させることが大事なのですが、それでもなかなか納得してくれないことがあります。そんな時には、別の方向からさらに理由や物事のルールなどを説明したり、時にはお願いしたり、妥協案を出して交渉することも一つの方法です。お子さんとの駆け引きの部分もありますが、過分なご褒美や取引は却って甘やかに繋がりますので、「待っていてくれてありがとう」とか「我慢できて偉かったね」などの対応がいいと思います。そして、そんな時ばかりでは済まされないこともありますし、また緊急を要したり絶対に認められない場合など、ある段階では多少強行な態度で出ることも時には必要でしょう。納得するまで待っているだけでは、解決できないことがあることを知っておくことも大切なことです。特にこれから、幼稚園という集団生活に入っていくと、次々にぶつかることですから、今から少しずつ体験させてあげておきたいものです。